

令和5年度 自己評価報告書

1. 本園の教育目標

- ・意欲を伸ばす
- ・思いやりを大切にする
- ・強い体と心を育てる

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもたちの意欲を高めるように、チャレンジの機会を用意する。

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもたちが楽しく取り組むことのできるチャレンジの機会を用意する	A	令和5年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことから、令和5年度はコロナ前と同様な行事を実施できた。子ども達には7月のたなばた会(音楽発表会)、10月の運動会、12月のクリスマス会(遊戯、劇の発表会)、2月製作まつりなど様々な行事でそれぞれの年次にあった新しい事に楽しみながら取り組む機会を提供することができた。
2	組織力の強化により、園の安全管理を充実させる	A	4つの安全対策担当は、退職・入職者があるため、担当者の入れ替えは行ったものの、多くは担当分野を継続している。これにより、継続して防災、防犯、保険衛生、食物アレルギーの課題に取り組むことができるようになった。
3	子育て支援のメニューを増やし、子育て支援を充実させる。	A	令和5年度からこども園に副園長を置き、子育て支援を強力に推進している。6月から新たに子育てルーム「ピーカブー」を毎週木曜日に継続的に実施している。「ピーカブー」は今までの子育て支援の対象より若年の1・2歳児とその保護者を対象とし、子どもを遊ばせながら園長や副園長と子育ての悩みを相談できる場となってきた。

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目に対して適切な取り組みを実施できた。3つとも今年で終わりといったテーマではないので、評価対象にするかどうかにかかわらず、引き続き実施していく。

5. 今後取り組み課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもひとり一人が輝く場を作る	R6年度園テーマは「みんなが主人公」となった。それぞれの年次に合わせて、ひとり一人の子どもに注目して輝ける場を作って、子ども達の頑張ろうとする気持ちを引き出す。
2	安全対策の課題の検討を進める	R4から安全対策担当を置き、継続的に分野を担当するようになった。R6は各種課題を明確化し、その対策の検討を進める。
3	子育て支援の推進	子育て支援のメニューとしてはかなり充実した。今後はそれぞれの取り組みの内容を充実させること、担当できる職員を増やすことなどに努める。